

新花巻図書館整備に関する設計業務等の予算が議決されました

新花巻図書館整備基本計画に基づく新花巻図書館設計等の補正予算が、令和 7 年花巻市議会 6 月定例会で議決されました。

今回の補正予算では、「新花巻図書館の設計業者選定に係る経費」や設計の基礎データとするため「現地の測量」を行うための予算のほか、令和 8 年度から国の「都市構造再編集中支援事業補助金」を活用するために必要な「都市再生整備計画」を本年度中に策定するための予算など、25,611千円を計上しました。また、基本設計と実施設計を令和 7 年度から 8 年度の 2 か年で一括発注により実施することから、債務負担行為の補正についても議決をいただきました。

1 補正予算の概要

① 新花巻図書館の設計業者選定に係る経費 359千円

新花巻図書館の設計は、図書館特有の知識のみならず、建物の環境性能、交通計画や駐車場計画、広場設計など、業務内容が多岐にわたり幅広い専門的な知識と経験が要求されることから、建築及び土木分野について横断的かつ総合的な技術力が必要となります。そのため、実施事業者の選定については、本業務と同種・類似の業務実績や経験、特定の課題に対する技術提案を応募者に求め、提出された技術提案等を審査した上で、より優れた技術力を有する事業者を選定できる、公募型プロポーザル方式により選定します。

公募型プロポーザルの実施のため、プロポーザル選定委員会を開催する必要があることから、当該選定委員に対する謝金等について予算措置

※市内業者を加えた共同企業体を結成する場合には評価点を加点することで、設計段階で市内業者が参画できる可能性を拡げる予定

② 新花巻図書館用地等測量調査業務委託料 15,077千円

新花巻図書館整備設計業務の基礎データとして、現地の測量データが必要になるため、用地測量及び現況測量を実施するための委託料

③ 都市再生整備計画策定業務委託料 10,175千円

新花巻図書館整備に関して、令和 8 年度から国の「都市構造再編集中支援事業補助金」を活用するため本年度中に「都市再生整備計画」の策定が必要となることから、専門業者から計画策定について支援を得るための委託料

2 債務負担行為の概要

新花巻図書館整備に関する設計については、可能な限り早期に図書館整備事業を進めるため、基本設計及び実施設計をひとつの契約として一括で発注することとしました。設計業務を令和 7 年度から 8 年度までの 2 か年で実施するため、設計に要する業務委託料408,000千円に関し、債務負担行為の補正を議決いただきました。

基本設計と実施設計をひとつの契約として発注した場合に期待できること

- ① 「基本設計」と「実施設計」が連続することで、高度な建築設計技術に加え、環境などへの配慮や関係者間の合意形成といった幅広い技術力が必要となるため、より優れた業者の参加が期待できる
- ② ひとつの契約の下、図書館設計全体に同一事業者が関与することになるため、従来、市で行ってきたような、分離型の発注の場合と比較し、設計業務に対する責任が明確化されるため設計成果としての質の向上が期待できる
- ③ 基本設計終了後に実施設計の契約を待つ必要がなく、設計について工期の短縮が期待できる

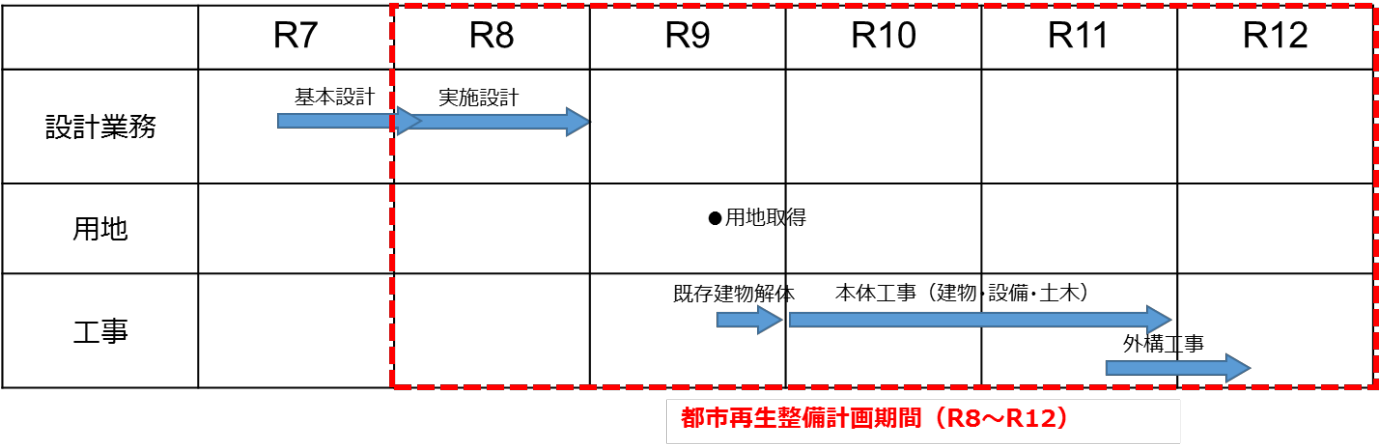
3 設計業務の業者選定について

- ① 今回の、新花巻図書館の基本・実施設計業務の一括発注にあたっては、同種業務・類似業務の実績や経験のほか、本業務にあたり配慮すべき点を設定し、それに対する技術提案を応募者に求め、その技術提案を審査し、最も高い技術力を持つ業者を選定できる公募型プロポーザル方式により選定します。
- ② 本業務については、幅広い専門的な知識と経験が要求されるものであり、その手法は一般の建築設計のような定型的なものではなく、図書館等に特有の知識、建物の環境性能、図書館周辺の交通計画や駐車場計画、広場設計など、多岐にわたる業務の実施を求めていることから、建築・土木分野の横断的かつ総合的な技術力を持った業者による実施が必要であると考えています。
- ③ 今回、事業者を求める技術力としては、建物の構造設計のほか、これまで策定した新花巻図書館整備基本計画を実現するために必要な、建物レイアウトの比較検討、ワークショップなどを開催し市民から意見をとりまとめ、設計に反映すること、ZEB Readyいわゆる高断熱化及び高効率化など省エネ設備を備えた建築物、図書館周辺の交通計画や駐車場計画、広場設計、図書館建物としての特有のノウハウなど、建築に限らず、土木、環境など分野横断的な技術力が必要であるものと考えています。
- ④ 市内に本店を有する一級建築士事務所のうち、花巻市営建設関連業務委託資格者名簿に登録があるのは7社であり、そのうち3名以上の一級建築士を有するのは2社のみとなっています。市内業者または市内業者との共同企業体のみを応募要件とした場合、市外業者は共同企業体を組む市内業者を見つけられず、結果として応募者数が少なくなる可能性が高くなり、最良の成果を得るに相応しい選定とは言い難い状況となります。これは、これから建設する新花巻図書館に対する市民の期待、ワークショップや市民会議をはじめ、たくさんの市民が関心を持ち、考え議論し、積み重ねて来た、単なる箱物ではない図書館を建築できるのか、そのような観点からみても、選択肢を狭めることは、避けるべきであると考えており、市内の業者と共同企業体（JV）を組むことを、プロポーザル参加の条件とすることはできないと考えています。ただし、市内業者を加えた共同企業体を結成する場合には、評価点に点数を加えることで、市内業者が参画できる可能性を高めたいと考えています。
- ⑤ 本設計業務には、市民参加型ワークショップの実施等も含み、基本設計の期間は7カ月、実施設計の期間は工事費の積算と建築確認申請も含めて11カ月の計18カ月と長期の業務を見込んでいます。

設計業者の選定にあたっては、一般社団法人 日本建築学会がまとめた「長く大切にされる公共施設を実現するための提言」の設計業者選定の指針に基づき、優れた設計業者を選ぶための作業を進めており、建築設計の専門家に相談し、アドバイザー契約を締結する予定です。

プロポーザル選定委員は、同指針により、建築設計の専門家を含む行政外部の専門家を過半数とするなど、優れた設計業者を選択できるよう進めてまいります。

4 開館までのスケジュール予定



5 概算事業費と財源内訳

- 国の補助制度「都市構造再編集中支援事業」の活用を予定
- 市負担分には合併特例債の活用を想定
- 合併特例債は、返済額の70%が国からの交付税措置されるため、市の実質的負担額は市負担額から交付税措置額を除いた額

概算事業費 約 39.9 億円
(令和6年10月時点)

財源内訳（単位：億円）

